

## 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第2回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）5月11日（水）14：00～16：00

場 所 宝塚市立中央公民館 ホール

出席者 <まちづくり協議会>  
仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長  
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長  
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中会長  
宝塚市光明地域まちづくり協議会 須藤 実枝会長  
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長  
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長  
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表  
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長  
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表  
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長  
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長  
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長  
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦副会長  
中山台コミュニティ 畑中 康治会長  
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ副代表  
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 三島 基道会長  
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長  
<その他>  
市民交流部 上田部長、浅井室長  
市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他  
子ども家庭支援センター 谷川所長、山田係長、北浦職員  
宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏  
宝塚市社会福祉協議会 前菌氏

### 議事概要（要旨）

- 1 「子育て支援グループ活動促進事業助成金」のご案内  
子ども家庭支援センターより、概要の説明があった。
- 2 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第1回）議事概要の確認  
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。
- 3 令和4年度協働の取組推進担当次長の任命について  
市民協働推進課より、配布資料に基づき上記について説明するとともに、新任の担当次長については、6月以降最初の各まちづくり協議会の定例会へ出席し、紹介する旨の説明があった。
- 4 令和4年度地域活動きずな研修の実施について  
市民協働推進課より、配布資料に基づき研修の概要について改めて説明するとともに、地域と若手職員との顔合わせのため、6月以降最初の各まちづくり協議会の定例会に若手職員

が参加する旨及び、若手職員がまちづくり協議会のどの会議・行事に参加させていただくか調整するため「令和4年度地域活動きずな研修\_若手職員参加調整表」を6月30日までに提出してほしい旨、依頼があった。意見の概要は以下の通り。

ア スケジュールを改めて説明してほしい。

イ (市) まずは、6月の定例会に若手職員が挨拶に伺う。その後、どの会議や行事に参加するかということについては、6月末までに調整表をご提出いただいたうえで、それに基づいて決定する。

ウ 調整表の提出後に変更があった場合はどうすればよいか、また、変更のたびに変更内容を届ける必要はあるか。例えば、予定していたイベントが中止になった場合や人員の過不足等の関係で予定していたものと別のイベントに参加してほしい場合等。

エ (市) 変更があり次第、早めに連絡をいただければ若手職員と調整する。

オ 若手職員と話す中で「こういったイベントに参加したい」といった意向があった場合、臨機応変に対応したいと考えており、変更を認めていただきたい。

カ (市) 若手職員の通常業務との調整が必要であるため、なるべく早く連絡をいただければ、調整をさせていただく。若手職員の意向を聞いていただける配慮はありがたい。

キ 6月定例会への出席は最大4回・17時間程度のカウントに入れるか。

ク (市) 最初の定例会(顔合わせ)はカウントしない。

ケ 6月11日に実施予定の定例会(運営委員会)でイベント等の年間のスケジュールを検討するので、是非参加してほしい。

コ (市) 6月11日の運営委員会に参加できるよう調整していく。

サ 大きく2点ある。1つ目は、きずな研修は0JTという認識でよいか。2つ目は、17時間程度と定めている縛りの主旨は。

シ (市) まず、2つ目については、当研修は平成29年度から実施しているが、令和2、3年度はコロナで中止しており、直近の開催年度は令和元年度。令和4年度は、これまで地域からいただいた意見を踏まえ、令和元年度よりも柔軟に参加する会議や行事を設定できるよう制度を変更しつつ、研修参加時間は令和元年度並みになるよう検討した結果「17時間程度」となった(配布資料Aの12ページを参照)。1つ目の質問の趣旨をもう一度お聞かせいただきたい。

ス 市として職員への教育方針の中にこの研修を取り入れているということか。

セ (市) 入庁5年目職員の必修の研修として実施している。

ソ (行事等について、)若手職員のうち1名のみ参加する場合、もう一方の(参加していない)職員に情報共有はされるのか。参加していない若手職員分も資料を用意しておいた方が良いか。

タ (市) 資料をご提供いただけると有難い。なお、参加した協議やイベントの内容については、市職員は出張時に復命書を作成し共有する仕組みとなっているため、参加していない職員も内容を把握することができる。

チ 令和元年度に参加した職員も入庁5年目の職員であったか。

ツ (市) そのとおり。

## 5 地域ごとのまちづくり計画について

### (1) 推進シート提出及び対話実施状況について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、上記実施状況の報告を行った。

推進シートは、宝塚市高司小学校区まちづくり協議会及び逆瀬台小学校区まちづくり協議会、対話シートは、小浜小学校区まちづくり協議会分を共有した。

### (2) 意見交換

特になし。

### (3) (※再周知)「進捗管理の実施及び総会での報告」及び「仕組みに対するアンケートご協力のお願ひ」について

市民協働推進課より、上記について再周知した。

## 6 令和4年度の地域活動の検討状況について

### (1) 情報交換

各まちづくり協議会より、現時点での令和4年度の地域活動の検討状況について、情報交換を行った。概要は下記のとおり。

#### 【宝塚第一】

- ア 新しく会長に就任した。今年度、役員17人中8人が変わり、ほぼ全員が現役世代である。
- イ 令和4年度の基本的な方針は（令和3年度と）変わらずコロナ禍に対応した活動としている。
- ウ 5月1日に「宝塚温泉まつり」を実施し、800人の来場があった。次回は6月にもイベントを行うが、イベントばかりではなく、政策的な提案等も行っていきたい。

#### 【長尾台】

- ア 令和3年度、メイン事業として、「わがまちの歴史再発見」というタイトルで歴史講演会、スタンプラリーを実施した。令和4年度は、若い世代（40歳前後の母親世代）の意見を聞き、「居心地の良いまち再発見」というタイトルで地域の景観の魅力を感じて伝える発想を考えている。
- イ 令和4年度は紙での資料配布はせず、LINEで情報交換、課題へ対する意見のとりまとめを行う等スピーディーに活動が行われている。
- ウ きずきの森でトロッコ列車を走らせる案がある。

#### 【良元】

- ア 5月10日（火）に総会、理事会を続けて開催。
- イ コロナ禍で2年間振り回され、総会等の対面開催ができなかった。高齢化の進行、パワーダウン等はあるが、コロナの終息後は、2年前と同じような活動を開催したいという意見が多く、代表としてはブレーキをかける役割も意識して行っている。
- ウ 令和3年11月には、「良元フェスタ」を実施し、コロナ対策やアクシデント対策等について、今後活用できる仕組みを作った。参加者は楽しんでくれたようだが、実施側の意見を聞く中で、準備等も含めて広く地域の人々と協力して初めて地域の交流ができるものであるという意見も多くあった。今回は（コロナ禍ということもあり、）あえてコンパクトなものにしたが、より地域の意見を聞くべきであると思った。

#### 【高司】

- ア 5月12日（木）総会を対面で開催。
- イ コロナ前は6月にミニ運動会を実施していたが、代替として6月4日（土）にゲームの企画を予定している。
- ウ 同じく6月に防災訓練（水害対策）の計画をしている。コロナの状況を注視し、やめるときはやめると示しながらも、今まで実施していたものは積極的に実施する方向で検討予定。

#### 【宝塚】

- ア やっと行事を再開しようという段階になった。今までの活動をそのまま再開するだけでなく、何か少しアイデアを出して、住民に元気になってもらえることがしたい。
- イ 5月3日（火）に、垂れ幕を付けて校区のだんじりを出したところ、好評であった。非日常的・非定量的なことを考えたら住民のみんなに喜んでもらえるように感じた。他のまち協のアイデアも、代表者交流会の場で是非発表してほしい。

#### 【西谷】

- ア 5月10日（火）夜にプレ総会として役員会を開催。5月21日（土）3年ぶりに対面で総会を実施する。
- イ 秋祭り等のイベントは2年間中止が続いていたが、今年度は力を入れていこうと考えている。他には、人口減少、少子高齢化対策にも力を入れたい。令和3年度は出生した子供が1人、亡くなった方が60人。こうしたことが毎年繰り返されている。だんじりの引き手自体もなくなり、だんじりを出さないと決定した地域もある。

ウ 移住促進として、移住の仕組みを作っており、専用のホームページも立ち上げた。現在、空き家は6~70軒あるが、貸し手借り手のマッチングを不動産業者に任せるだけでなく、今後、専属の相談センターをつくる予定であったりと、移住定住促進事業を考えている。移住してくれる人を地道に探していく。

#### 【未成】

- ア コロナ禍ではあるが、通常どおりの活動を予定している。令和3年度は、準備段階でフェスタが中止となったが、(令和4年度は)できればと考えている。コロナ禍ということで活動を縮小させるつもりはない。コロナ禍に入り、2年経過して、やめてしまおうではなく、できることをやっっていこうと思っている。
- イ 令和3年度に避難所の運営開設訓練の実施を検討したが、コロナ禍では制約が多く、通常の避難所運営ではできないため、令和4年度においても考えて進めていかなければと考えている。

#### 【売布】

- ア 令和3年度は中止、縮小で事業を進めてきた。行事・イベントを中止にした代わりに、持続的的事业として、避難所運営マニュアルを半年かけて作成、また、地域の交流の場としてふれあい農園事業を立ち上げ、農園開きには市長も参加した。6月中旬に第一回収穫祭を企画している。避難所運営マニュアル作成後には、地域のリーダーのみ集まって避難所開設訓練を行った。小規模で、あまり密にならないよう工夫した。
- イ 令和4年度は、事業計画、予算組みをしている最中であるが、行事をするとしても飲食はやめようという方向で進めている。

#### 【安倉】

- ア 5月15日(日)に対面で総会を開催予定。役員の入替わりがあり、若返った人選となった。去年できなかったこと、できたこともより充実した形でできればと思っている。
- イ 防災訓練も計画を練り直して6月に実施できるようにしている。コロナで士気も高まらない為、できることをやろうということで実施した。また、(コロナ禍で止まった活動を)取り返す意味を込めて、子供も大人も協力してやっっていこうと思っている。

#### 【西山】

- ア 5月25日(水)に総会を開催予定。令和4年度は大きな事業としてバスツアー、祭りも中止。岩石園を「西山ガーデン」として花壇の手入れをグループでやろうとしている。
- イ コミュニケーション支援ボードについて、コープへ問い合わせたところ実現したため、広げていきたい。秋祭りについては、逆瀬川に親しむ会とイベントの実施を検討している。

#### 【山本山手】

- ア 来週の総会から代表に就任する。代表者交流会も初めての参加で詳しくないが、助言をもらいながらやっていきたいと思う。
- イ 令和3年度は宅地造成もあり、新しい自治会も増えるなど、規模としては拡大している。
- ウ コロナ禍で行事ができていないが、小学校でどんど祭り、中学校の生徒と清掃活動、各部会の活動等は実施され、地域とのつながりはあったかと思う。

#### 【長尾】

- ア 2年間活動がほぼ止まっていたため、令和4年度はできるだけ復活したいと考えているが、5月15日(日)総会で行事予定を決める。
- イ まちづくり協議会、自治会、民生委員、医療関係、障害関係等で連絡協議会を立ち上げ、行事があるたびに声を掛け、互いに参加できるものは参加するなど、これまで縦割りであったものを横串にして、令和4年度はやっっていこうとなっており、5月には講演会を実施予定である。
- ウ 7月24日(日)に夏祭りを実施予定である。飲食の可否が問題になってくるが、やり方次第で可能ではと考えている。管内の住民約39,000人が対象であるが、実際、活動に参加しているのは130人程度のみであるため、(目標としては、)10%程が参加でき

るような組織にできればと考えている。

【中山台】

- ア (令和3年度は) 主催する行事はほぼゼロであった。令和3年12月の「第9を歌う会」から(活動が)スタートしている。12自治会があるが自治会としてはほとんど焼きや桜祭り等の企画など工夫して活動を行っていた。
- イ 令和4年度は、ほぼ例年通りに進めていきたいと考えているが、状況に応じて、中身を変えざるを得ないと考えている。10年ほど前に地区防災計画を立て、避難訓練を大々的にやっていたが、学校に集まるのに意味がなくなりつつあることや地域の立地条件に高低差があり、避難する事情ではないということもあり、来年度以降は各自治会が主体になった防災訓練に重きを置こうと考えている。
- ウ デジタル化促進事業については、活動拠点としてコミュニティセンターの多目的ホールがあり、恵まれた環境であったことから、(これまでは会議等を)対面で行っていた。そのため、(デジタル化について)あまりにも勉強不足であったことを反省しており、やらなければいけないと思っている。できることはやっつけよう(という意識に)変わりつつある。

【仁川】

- ア 5月15日(日)に定期総会を開催予定。令和3年度に実施した「弁天池を守る会」には市長に来ていただいた他、104名の参加があった。どんど焼きも800人ほど集まり、盛大に実施できた。
- イ 令和4年度については、夏祭りをみんなの意向を聞いたうえで、できればよいと考えている。

【すみれ】

- ア 令和3年度は盆踊りや餅つき大会等の大きな行事が中止となった代わりに、地域の発表会を実施し、地域でさまざまな活動をしている人の発表の場を提供した。一度まん延防止等重点措置により、延期となったが、3月に小学校で実施できた。内容は中学校から吹奏楽部、子供のバレエ、オカリナ、老人会等に出してもらい、飲食無しとしたが好評であった。令和4年度も秋に実施予定である。
- イ 盆踊りも令和3年度はできなかったが、今月下旬から実行委員会を開き、内容や飲食の可否等を検討予定である。

【末広】

- ア 5月28日(土)に総会を実施予定。夏祭りは実施を予定、合同防災訓練については中止しようと決定した。(当まちづくり協議会の)特徴として逆瀬川の活性化に向け商店街でピアガーデン実施していたが、それも中止することとした。
- イ 教育委員会の放課後事業については、中心人物の転勤により活動できない状況となっている。割り切ってできないようにするかと話しているが、市役所からも明確な答えはない状況である。

【逆瀬台】

- ア 毎年、桜祭り、夏祭り、文化祭、ゆずり葉まつりを小学校で実施していたが、2年間何もできなかった。高齢化率46%となり、担い手が減って活動ができない。
- イ 令和3年度にコミュニティスクールということで、県立宝塚高、逆瀬台小学校と対話して計画ができるようになり、マイナス面を補い、高校生が力を発揮できるようなイベントの実施に向けて話を進めている。地域に愛着を持つ学生が多いため、イベントを一緒にやっつけようと考えている。

(2) 意見交換

- ア 今年4月から社会福祉協議会では第7次地域福祉推進計画が始動するが、まちづくり協議会の中でどう機能するのか等あまり浸透していない。計画の推進のため、地域と話し合うことを検討しているとのことであるが、代表者交流会についても、社会福祉協議会にも参加してもらおうのが良いのではと考えるが、どう思うか。
- イ (市)社会福祉協議会については、各まちづくり協議会の定例会等に参加いただいている現状や、まちづくり計画についても福祉分野中心に積極的に関わりたいという声

- もいただき、令和3年度の夏から毎月代表者交流会に参加いただいている。
- ウ (当まちづくり協議会の) 定例会に参加いただいている社会福祉協議会、包括支援、民生委員の情報は重要であると考えている。社会福祉協議会はさまざまな事業をされているが、効果的なものがあると思う。例えば、24時間介護サービスの情報提供等。社会福祉協議会や民生委員の参加によって、実際に成果が上がっていると感じており、今後も是非会議に参加されたいと思う。
- エ 地域の問題は大きく2つある。令和4年度入学した小学1年生は202人と多く、コロナ禍で活動が制限される中で夏祭り等の実施に悩んでいる。高齢化は27%であるが、50か所ある100歳体操に社会福祉協議会に来てもらったり、宝梅ハウスでくすのきカフェなど、小さなハブで広がっているのを、繋げて見守る活動をしている。また、自治会は回覧をLINEで回している。福祉に対する市民の理解を得るため、会議で福祉をするのではなく、小さいことでもよいので実践的に汗をかく方法が良いと思う。
- オ 社会福祉協議会の地区代表を4年していた。社会福祉協議会はまちづくり協議会の会議に参加はするが、方針展開的には、やろうという気が感じられない。社会福祉協議会トップのまちづくり協議会に方針展開をしようという意識が感じられない。これまでも意見を述べてきたが、改善されない。社会福祉協議会は市役所と仕組み的に関係しているか。
- カ (市) 社会福祉協議会と市とのかかわりについて、主に資金面や計画策定で福祉の推進に向けて両輪となって取り組んでいるという認識である。市からは補助金、委託、指定管理等、大きな関わりがある。具体的には、福祉の部署と定期的に情報共有したり、最近では市民協働推進課としても関わりが増え、代表者交流会にも毎回参加いただくこととなった。社会福祉協議会からも地域に深く関わりたいという思いを聞いており、また当課としても当課だけではできないことがあり、思いが共通しているため、去年からやり取りがより活発になっている。社会福祉協議会が地域に入っていくことについては、当課としても、社会福祉協議会としても望ましいことであると感じている。
- キ 互いに褒め合っているけど仕方がない。連なった方針を一緒にやっていく考えがない限りむなしい感じを受ける。直してほしい。
- ク (市) できていないことや課題等についても話さなければならぬと考えており、市役所が弱いところも踏まえて、話をしていきたいと思っている。本音を話して、課題解決に向けてどのように力を借りたいのか、力を貸せるのかを進めていきたいと考えている。
- ケ 当まちづくり協議会の定例会にも社会福祉協議会に参加いただいているが、地域の情報交換の場にはなっていると思う。
- コ 当まちづくり協議会では福祉活動部が主催で見守り会議を主催している。大変有効な会議であり、年々煮詰まってきたと感じている。当地区の警察、消防、池田泉州銀行、郵便局、コープ、社協、包括等あらゆる団体に参加いただいて、身近な情報交換をしており、有効な会議になっている。最近では、孤独死が多いということで、それぞれの地区で見守る体制を作る等、社会福祉協議会の情報は有効であると思っている。
- サ 毎回、定例会議、ネットワーク会議に参加いただいて情報の共有をするが、そこから先がないと言っている。社会福祉協議会の方針に従ってまちづくり協議会が実行すれば成果として出てくるのではないかと。社会福祉協議会から資金をもらって活動をしているため、しっかりとしなければと思っている。
- シ (社会福祉協議会) 社会福祉協議会は1ブロック1名で7ブロック地区担当を配置しており、各まちづくり協議会の定例会等にも参加させていただいている。情報提供の面では役に立っているが、その先はないというご指摘もあった。第7次地域福祉推進計画は、これから福祉をどう進めていくかについて地域の方とも協議をして策定した。5月末には冊子が完成予定であるが、各まちづくり協議会で説明をさせていただく機会をもらい、どのように実行していくかという議論をさせていただけたらと考えている。これまでの地域福祉推進計画が浸透しておらず、社会福祉協議会は何をしている

か分からないというところを払拭していこうと思っている。今回ご指摘をいただけて大変ありがたいと考えている。

7 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(3)について、再周知を行った。

- (1) (※再周知) 令和4年度(2022年度)まちづくり協議会代表者の個人情報の提供について(お願い)
- (2) (※再周知) 令和4年度まちづくり協議会補助金の申請について
- (3) (※再周知) 令和4年度まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)説明の日程調整について(お願い)

8 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下(1)について、周知があった。意見は以下の通り。

(1) Say! So! 事業について

ア 事業自体は、宝塚NPOセンターが主催か。

イ (宝塚NPOセンター) そう。

ウ 1つ目はパンフレットの文字が見づらい。2つ目は個人での申し込み(個人宅の清掃)は可能かどうか。3つ目は介護保険等で掃除をしてもらうこととの違いを教えてほしい。

エ (宝塚NPOセンター) 1つ目については、担当に共有をし、修正を含めて考えていく。2つ目については、現在考えているのは、アパートや小規模のマンションを考えている。個人での申し込みは現在のところ想定はしていないが、ご意見は持ち帰らせていただく。3つ目は、また改めて回答させていただく。

9 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下(1)～(3)について、周知があった。

- (1) 行事用備品の貸出について
- (2) ぼうむ VOL. 8について
- (3) 「みんなのかふえ ひまわり」について

10 その他

特になし

11 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以 上